

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190300147		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心とどろき		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1473番地3		
自己評価作成日	平成27年3月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年3月25日	外部評価確定日	平成27年8月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>○協力医療機関との医療連携により、ご利用者の健康管理や急変時の迅速な対応が出来、安心して生活して頂けます。</p> <p>○ご利用者が暮らしやすい明るく和やかな環境を作るために、職員間の意見交換や共通認識、コミュニケーションを図る場を多く設けると共に、研修や勉強会などへの積極的な参加を行って、職員一人一人のキャリアアップに努め、サービスの質の向上を目指しています。</p> <p>○ご家族にも安心して頂けるように、日々の生活の状況を写真に撮り、毎月送付したり施設内に掲示して、ご家族の信頼を得られるように努めています。</p> <p>○ケアマネジメント業務に職員全員で取り組みご利用者・ご家族の意向に沿って、生きがいや楽しみをもって過ごしていただけるように支援を行っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>国道から少し入った所で、閑静な住宅地に位置している。すぐ近くの神社は散歩のコースであり、地域の行事でも馴染みの場所である。同法人が経営する施設が隣接しており、互いに連携し合い心強い関係である。事業所には、家族の来所が多く、遠方に住む家族でも年に数回は訪れている。管理者は、敢えて土日出勤とし、週末に訪れる家族とのコミュニケーションを大切にしている。そこから受け取った想いは、日々のケアに活かせるよう努めている。事業所が求人募集をすれば職員が求職者を紹介するケースが多いというのは、働く環境として職員自らが認めており、互いに助け合いながらケアに取り組んでいるからである。チームワークの良さで、入居者にとっても穏やかな暮らしが支援されている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。また、会議や話し合いを通して理念の共有と実践を心がけている。	毎朝の朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。また、会議や話し合いを通して理念の共有と実践を心がけている。	理念は、法人母体が掲げているものに沿っている。事務室に掲示しており、朝礼時に唱和することで意識付けを行っている。「人間賛歌の事業所を目指す。」と掲げられている通り、職員が入居者や家族と接する様子にも、理念が常に立ち戻る原点として定着しているのが伺える。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天候の良い日には施設周辺へ散歩に出掛けている。また、定期的な買物レクを企画したり、地域行事への参加を試みている。施設行事の際にはボランティアを招いたり、夏祭りでは地域住民の方々にも参加して頂いた。	天候の良い日には施設周辺へ散歩に出掛けている。また、定期的な買物レクを企画したり、地域行事への参加を試みている。施設行事の際にはボランティアを招いたり、夏祭りでは地域住民の方々にも参加して頂いた。	現在、自治会への加入と、それに伴う回覧板等についても区長へ願い出ているところである。未加入であっても地域の清掃活動等には積極的に参加している。隣接する同法人施設と合同で、年に数回の行事を開催しているが、地域住民を招き交流が深まるよう努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症や権利擁護の研修へ積極的に参加をしている。また、施設勉強会開催の際には、地区の掲示版へ案内を掲示して参加の呼びかけをしたり、ご家族へ参加を呼びかける事に努めている。	認知症や権利擁護の研修へ積極的に参加をしている。また、施設勉強会開催の際には、地区の掲示版へ案内を掲示して参加の呼びかけをしたり、ご家族へ参加を呼びかける事に努めている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催している。ご家族様や行政の意見は議事録として記録し、改善に努めている。また、ボランティアや地域行事などの情報収集の場としても活用している。	2ヶ月に一度開催している。ご家族様や行政の意見は議事録として記録し、改善に努めている。また、ボランティアや地域行事などの情報収集の場としても活用している。	運営推進会議は、レジメなど事前準備の工夫で要領よく進められている。メンバーである市町村職員は、欠席の際には代理を出している。入居者や家族も出来る限り出席している。限られた時間ではあるが、双方向な意見が活発に出され、事業所にとっては良きアドバイスにもなっていることが議事録からも伺える。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政主催の研修会の実行委員を務めたり、研修会へも積極的な参加をしている。また、運営推進会議にも参加して頂き、良好な協力関係を保つ様に努めている。	行政主催の研修会の実行委員を務めたり、研修会へも積極的な参加をしている。また、運営推進会議にも参加して頂き、良好な協力関係を保つ様に努めている。	運営推進会議のメンバーでもあり、また、管理者がグループホーム連絡協議会等に関わっていることから、日頃から顔なじみである。相談事には直接会って話す事も多く、実直に対応してもらえる関係が築けている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を開催し、スタッフの理解及び意識付けに努めている。また、入居者様の安全を考慮し必要があればご家族様の同意を得て行う場合もある。行った場合は、毎月身体拘束廃止に関する検討会を開催し、議論している。	身体拘束に関する勉強会を開催し、スタッフの理解及び意識付けに努めている。また、入居者様の安全を考慮し必要があればご家族様の同意を得て行う場合もある。行った場合は、毎月身体拘束廃止に関する検討会を開催し、議論している。	年2回、事業所独自での勉強会を行っている。法人全体のものを含めると更に多くの機会が設けられている。身体拘束についての指針もあり、入居時に説明も行っている。職員は身体拘束の内容とその弊害をよく理解しており、日常のケアの中で入居者の行動を抑えることもない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所での社内研修年間スケジュールを作成し、高齢者虐待防止法についての勉強会を盛り込み実施している。	事業所での社内研修年間スケジュールを作成し、高齢者虐待防止法についての勉強会を盛り込み実施している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に研修会に参加している。研修に参加した職員は、施設勉強会で発表・報告をして情報の共有を図り、スタッフ一人一人が理解していく為の機会を設けている。	定期的に研修会に参加している。研修に参加した職員は、施設勉強会で発表・報告をして情報の共有を図り、スタッフ一人一人が理解していく為の機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び解約・改定等の際は、説明を十分に行い理解・納得を得られる様に努めている。質問等があれば随時対応している。	契約時及び解約・改定等の際は、説明を十分に行い理解・納得を得られる様に努めている。質問等があれば随時対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置し、随時確認をしている。入居者様やご家族の口頭による苦情や要望があった際には、報告書をまとめスタッフ休憩室に掲示して確認を行っている。	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置し、随時確認をしている。入居者様やご家族の口頭による苦情や要望があった際には、報告書をまとめスタッフ休憩室に掲示して確認を行っている。	日頃から家族ともコミュニケーションを図ることを大切にしている。来所の折や、遠方の家族にはこまめな近況報告であったり、受診後の結果報告など様々な機会を作り、想いを聞き取ろうとしている。どんな些細なことでも気軽に話してもらうことが事業所の質の向上にも繋がるとの考えからである。また、外部に苦情や相談の窓口があることは書類に明記され説明も行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月カンファレンスを開催し、スタッフの意見や提案を管理者も含め参加者全員で話し合い、運営に反映できる様に努めている。また、課題がある場合にはその都度話し合いを行い対応している。	毎月カンファレンスを開催し、スタッフの意見や提案を管理者も含め参加者全員で話し合い、運営に反映できる様に努めている。また、課題がある場合にはその都度話し合いを行い対応している。	毎月、2ユニット合同での職員会議を開いている。非番者の参加は任意である。要領よく進めるためのレジメ準備や出された意見にも緊急性など優先順位を付けることで限られた時間を有効に使っている。管理者は会議の場だけではなく、日頃から現場職員の意見には耳を傾け、ケアにも目を配っている。求人には職員からの紹介も多いというのは、このような職場環境の効果である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場スタッフの意見は随時代表者や取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案などに関してもその都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場スタッフの意見は随時代表者や取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案などに関してもその都度話し合いの場を設けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は随時面談を行い、スタッフ一人一人の力量を把握する事に努めている。また、法人内でチャレンジNo.1やアタックNo.1活動を実施して、スタッフのレベルアップを図ったり、行政主催の研修会に積極的にスタッフの参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告を行っている。	管理者は随時面談を行い、スタッフ一人一人の力量を把握する事に努めている。また、法人内でチャレンジNo.1やアタックNo.1活動を実施して、スタッフのレベルアップを図ったり、行政主催の研修会に積極的にスタッフの参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会や介護支援専門員協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者との交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。	グループホーム連絡協議会や介護支援専門員協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者との交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学の希望があった際には丁寧な案内を心がけ、可能な限りご要望に応えられるよう努めている。入居希望時には事前に情報収集の機会を設けて安心して入居して頂ける様に努めている。	施設見学の希望があった際には丁寧な案内を心がけ、可能な限りご要望に応えられるよう努めている。入居希望時には事前に情報収集の機会を設けて安心して入居して頂ける様に努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居を希望されるご家族様には施設の運営規定を十分に説明を行うと共に、ご家族様の不安や要望をお聞きして、良い関係を築けるよう努めている。また、どのように過ごされているかなどの様子を報告するようにしている。	施設入居を希望されるご家族様には施設の運営規定を十分に説明を行うと共に、ご家族様の不安や要望をお聞きして、良い関係を築けるよう努めている。また、どのように過ごされているかなどの様子を報告するようにしている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に収集する情報や本人様とご家族様の意向をお聞きし、必要であれば他サービスを取り入れた支援ができる様に努めている。	入居前に収集する情報や本人様とご家族様の意向をお聞きし、必要であれば他サービスを取り入れた支援ができる様に努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の片付けや掃除等の家事作業を入居者様の方々にも参加して頂き、スタッフだけでなく入居者様の協力し合える環境作りに努めている。	食事の片付けや掃除等の家事作業を入居者様の方々にも参加して頂き、スタッフだけでなく入居者様の協力し合える環境作りに努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事の時にはご家族様を招待して本人様とご家族様の交流を深めたり、ご家族様の面会時には、ゆっくりとくつろいで話ができる環境に配慮している。	行事の時にはご家族様を招待して本人様とご家族様の交流を深めたり、ご家族様の面会時には、ゆっくりとくつろいで話ができる環境に配慮している。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人の面会もあり、毎月希望者があれば買い物へ行ったり、天候が良い日は近所を散歩している。	友人や知人の面会もあり、毎月希望者があれば買い物へ行ったり、天候が良い日は近所を散歩している。	入居時には、これまでの人間関係等の把握のため、担当ケアマネージャーや利用していた事業所等からも情報を集めている。電話や手紙の手伝いはもとより、お正月やお盆の外泊、また、墓参り等への付き添いを通じて関係を継続させるための支援をしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃からレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を作ると共に、各々の居室を訪問し合ったり日常生活の中で、職員が間に入り入居者様同士が支え合える様な環境作りに努めている。	日頃からレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を作ると共に、各々の居室を訪問し合ったり日常生活の中で、職員が間に入り入居者様同士が支え合える様な環境作りに努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去や転居された後も、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退去や転居された後も、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情から入居者様一人一人の思いを把握したり直接本人様から聞き取って、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情から入居者様一人一人の思いを把握したり直接本人様から聞き取って、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で入居者の想いが感じ取れるよう努めている。話をする時は腰を低くし視線を合わせ、ごく自然な形で向き合っている。居室を訪ねゆっくりと話すこともある。担当制ではあるが、気付いた職員が個別の記録に残している。事業所では、電子カルテのように情報はパソコンに入力され、共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話だけでなく、ご家族様へも本人様の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。	ご本人様との会話だけでなく、ご家族様へも本人様の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人一人の現状や状況を些細な事でも日々の記録として残し、スタッフが把握できる様に努めている。また、連絡ノートを活用して細かな情報共有を図っている。	入居者様一人一人の現状や状況を些細な事でも日々の記録として残し、スタッフが把握できる様に努めている。また、連絡ノートを活用して細かな情報共有を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングやケア会議を行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的に行い、ケアのあり方について話し合いを行い介護計画を作成している。	入居者様それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングやケア会議を行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的に行い、ケアのあり方について話し合いを行い介護計画を作成している。	入居者や家族から聞き取った想いと、ケアにあたる職員の気付き等は、パソコンを使いながら細かく残され、本人がより良く過ごせるプランとなるよう活用されている。リクライニング機能がある車椅子の導入も、日々のケアの中から検討されたことである。サービス担当者会議には、本人や家族も同席し、意見や要望があれば話している。通常3ヵ月毎の見直しではあるが、変化があれば臨機応変に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの中で気付き等があれば些細な事でも個人記録などに残し、介護計画の見直しに活かしている。	ケアの中で気付き等があれば些細な事でも個人記録などに残し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の面会時に話を聞いたりて、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できる様に努めている。また、面会の多い土日にも柔軟に対応できるスタッフの配置を心がけている。	ご家族様の面会時に話を聞いたりて、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できる様に努めている。また、面会の多い土日にも柔軟に対応できるスタッフの配置を心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	通所リハビリを利用したり、行事の際にはボランティアの方を招待し入居者が楽しむ事が出来る様に支援している。	通所リハビリを利用したり、行事の際にはボランティアの方を招待し入居者が楽しむ事が出来る様に支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医がある場合は、ご家族様の協力の下に継続して受診できる様に支援している。また法人内には協力病院や訪問看護ステーションがあるので、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	かかりつけ医がある場合は、ご家族様の協力の下に継続して受診できる様に支援している。また法人内には協力病院や訪問看護ステーションがあるので、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	入居前からのかかりつけ医であっても、継続して医療が受けられるよう支援している。終末期対応等がかかりつけ医を変更する場合には、十分な説明も行っている。受診の際、家族のみが付き添う場合には、日常の様子を話し、きちんと医師に伝えるよう配慮している。また職員だけが付き添う場合も、家族への報告は当日中に行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護が受けられる様に努めている。	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護が受けられる様に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加して日頃から関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加して日頃から関係者との関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に本人様・家族様の希望を聞き、重度化や終末期についての希望・意見を確認している。利用者様の状態の変化に応じて随時意向を確認し、家族・主治医・訪問看護・職員が連携し、本人様が望む支援ができる様に努めている。	入居時に本人様・家族様の希望を聞き、重度化や終末期についての希望・意見を確認している。利用者様の状態の変化に応じて随時意向を確認し、家族・主治医・訪問看護・職員が連携し、本人様が望む支援ができる様に努めている。	これまでに看取りの経験がある。今後も希望があればその用意はあり、入居時に指針等の説明も行っている。本人や家族の想いを真摯に受け止め、容態の変化に応じて何度も話し合いを重ねている。安心して納得した最期を迎えられるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修会の訓練参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備し、事故発生時に実践できるよう努めている。	外部研修会の訓練参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備し、事故発生時に実践できるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	年2回、隣接する同法人施設と合同で、入居者も一緒に避難訓練を行っている。消防署や防災関係会社の立会いもあり、昼間帯に実施し、夜間は想定のみである。2階建ての事業所では、外階段を使つての避難誘導も行っている。職員は、消火器や火災通報装置の使い方も承知しており、台所の水屋等は固定されている。非常食や水、寒さを凌げる物の備蓄はないが、近くに法人母体もあることから救援が予想される。周辺住民への周知は行っているが、今後は参加協力も得られるよう検討中である。訓練記録はきちんと残されており、反省点や気づきは現場で職員に伝え、改善へと繋げている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉かけや対応に心がけると共に、敬意を表した対応に心がけている。	入居者様の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉かけや対応に心がけると共に、敬意を表した対応に心がけている。	年長者として敬意を払い、接する態度や言葉掛けにも自然な配慮が伺える。自分の親であればという職員の想いからである。また、プライバシーや個人情報の取り扱いに対しても意識は高い。入浴時や排泄の介助等では、特に、羞恥心にも配慮した支援を行っている。ホーム便りへ掲載される写真等についても、本人や家族の承諾を得ている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から入居者様の話聞き、入居者様の希望や要望に沿った生活が出来る様に働きかけている。	日頃から入居者様の話聞き、入居者様の希望や要望に沿った生活が出来る様に働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調やペースに合わせ、その都度本人様の意向を確認しながら希望に沿った支援ができる様に努めている。	入居者様の体調やペースに合わせ、その都度本人様の意向を確認しながら希望に沿った支援ができる様に努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理・美容の方に来て頂き、カット・カラー・パーマをご利用いただいている。	毎月訪問理・美容の方に来て頂き、カット・カラー・パーマをご利用いただいている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食前には食器等の準備や、食後の片付け・テーブル拭きなど出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつと一緒に手作りする事もある。	食前には食器等の準備や、食後の片付け・テーブル拭きなど出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつと一緒に手作りする事もある。	食事の副食は事業所内で作ることはなく、毎日専門業者から翌日分が配送されて来るシステムである。法人が一括して契約しており、食事の形状も希望に沿ってもらえ、栄養管理も出来ている。副食でリクエストに応えることは難しいが、デザートやおやつでは食べたいものを尋ね、入居者も一緒に手作りすることもある。また、誕生日は当日に祝い、家族の来所もある。職員は、時には同じメニューを、検食も兼ねて食べたり、持参のお弁当でも出来るだけ入居者と一緒に食べるよう努めている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討し、一覧表を作成している。また、水分・食事の摂取量のチェック表を作成し、栄養のバランスが把握出来る様になっている。	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討し、一覧表を作成している。また、水分・食事の摂取量のチェック表を作成し、栄養のバランスが把握出来る様になっている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、入居者様一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別のケアを行っている。必要時には訪問歯科を利用し、口腔内の確認を行って頂いている。	毎食後、入居者様一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別のケアを行っている。必要時には訪問歯科を利用し、口腔内の確認を行って頂いている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握し、日中はオムツを使用しない工夫を検討し、トイレにて排泄が行える様支援している。	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握し、日中はオムツを使用しない工夫を検討し、トイレにて排泄が行える様支援している。	入居者の中には、自立している方も複数いる。本人に任せっぱなしではなく、さりげない見守りを行っている。日々のケアの記録からパターンを知り、日中は可能な限りトイレでの排泄を支援している。これらのケアで日中だけでもオムツからリハビリパンツへ改善した例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供するなどの工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度摂取して頂く様に声かけを行っている。	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供するなどの工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度摂取して頂く様に声かけを行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっているが、一人一人の体調をみて入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の入浴順番を掲示して、入居者様にも順番がわかる工夫をしている。	入浴日は決まっているが、一人一人の体調をみて入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の入浴順番を掲示して、入居者様にも順番がわかる工夫をしている。	入浴は、週3回を目途にしているが、毎日2ユニットのどちらかが入浴日であるため、お風呂の用意はあり、入居者の希望にはいつでも対応できる。事業所の特徴はリフト浴が出来る事で、これは安全面への配慮や双方の負担軽減ともなっている。冬場の脱衣場は温度管理され、衣服の脱ぎ着は出来るだけ本人に任せ、過度な介助とならないよう心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には、室温の調整や乾燥しない様に加湿器を作動させ、気持ちよく眠れる様に支援している。	入居者様の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には、室温の調整や乾燥しない様に加湿器を作動させ、気持ちよく眠れる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の個人ファイルに薬の説明書を挟み、いつでもスタッフが確認できる様にしている。また、内服薬の変更・追加時はその都度協力医療機関の看護師や、薬局の薬剤師より説明を受けている。服薬介助する際には、スタッフ2名で確認し合い誤薬防止に努めている。	個別の個人ファイルに薬の説明書を挟み、いつでもスタッフが確認できる様にしている。また、内服薬の変更・追加時はその都度協力医療機関の看護師や、薬局の薬剤師より説明を受けている。服薬介助する際には、スタッフ2名で確認し合い誤薬防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や能力に応じて出来る事を見極め、張り合いや喜びを持って生活できる様に役割分担したり、気分転換できる様に努めている。	今までの生活歴や能力に応じて出来る事を見極め、張り合いや喜びを持って生活できる様に役割分担したり、気分転換できる様に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近場の買い物や外出については、希望に沿って支援している。遠方への外出や地域活動等には家族や地域の方の協力を頂き実施している。	近場の買い物や外出については、希望に沿って支援している。遠方への外出や地域活動等には家族や地域の方の協力を頂き実施している。	天候や体調をみて近所を散歩したり、土日には買物レクとして外出を支援している。毎月の予定表で知る家族が店で待ち、一緒に買物をする事もある。年間行事にはドライブ等もあり、法人が所有する車椅子対応車両も使えることから、機能が低下した入居者も留守番をすることなく一緒に出掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方に関しては、小額を自己管理している。外出の際には買い物等もされている。	自己管理が出来る方に関しては、小額を自己管理している。外出の際には買い物等もされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望・要望時には電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。	希望・要望時には電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけ等をしたり、花壇を設置して野菜等を育てたり、観葉植物を置いたりして居心地良く過ごせる様な工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	季節に応じた飾りつけ等をしたり、花壇を設置して野菜等を育てたり、観葉植物を置いたりして居心地良く過ごせる様な工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	玄関を入るとまずお香の香りに迎えられ、リビングには季節の花がさりげなく飾られている。加湿空気清浄機も設置され快適に過ごせるよう配慮されている。日差しはカーテンで緩和され、程よい明るさと暖かさである。廊下に障害となる物はなく、スムーズに通ることが出来る。浴室、トイレ等もきれいに掃除され、嫌な臭気はない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	折りたたみ椅子を設置したり、他の居室への移動を希望される際には、移動の支援をするなどそれぞれ好きな場所で過ごせる様にしている。	折りたたみ椅子を設置したり、他の居室への移動を希望される際には、移動の支援をするなどそれぞれ好きな場所で過ごせる様にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的に本人様や家族の意向を聞きながら、必要な方には部屋の模様替えを手伝っている。各居室にコルクボードを設置して、思い出の写真を貼って楽しんでいただける様にしている。	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的に本人様や家族の意向を聞きながら、必要な方には部屋の模様替えを手伝っている。各居室にコルクボードを設置して、思い出の写真を貼って楽しんでいただける様にしている。	居室にはベッドが備品としてあり、他の家具は使い慣れた品物を持ち込んでもらうよう話している。火気等の危険物以外に制限はしていない。事業所が用意したコルクボードには、入居者の写真がたくさん貼ってあり、来所した家族が日常を知るきっかけともなっている。居室の掃除は職員が行うが、入居者も出来ることを手伝っている。また、家族が希望すれば宿泊も可能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のない造り・手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共用スペース共に工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	段差のない造り・手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共用スペース共に工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
		○	○	2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない